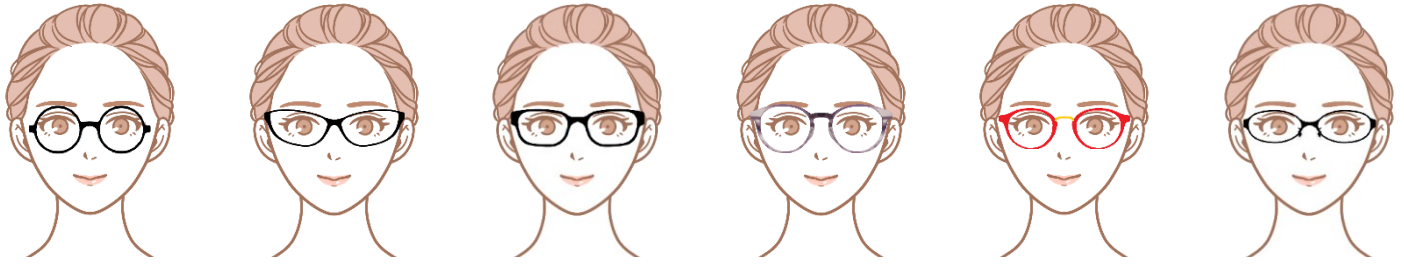
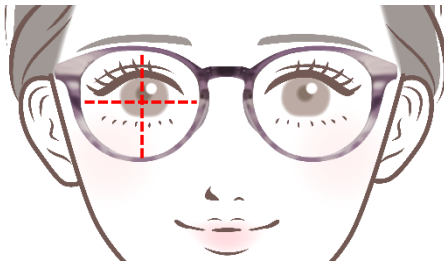


自分に似合うメガネ、迷っていますか？



お顔の形に合わせた似合うメガネというと丸顔にはスクエアやシャープめのハーフリム四角めのお顔にはボスリントンや全体に丸みを持たせる面長なら縦幅の大き目のボスリントンやウエリントンなどが一般的には言われています



私がオススメをするときのポイントは、“サイズ感”と“お顔写り”
メガネを掛けたとき黒目がレンズの中心付近にくることを目安にしています
そしてお顔が明るく映るようなカラーをお勧めします
もちろんこれが絶対ではございません
流行のデザインを掛けたい！という方もいるでしょう
最後はメガネをかけた自分をどう見せたいか、見られたいかです

当店では iPad で写真にとって客観的に見比べていただけます
レンズにカラーを入れた印象を見ることもできます
是非ご体験くださいませ



安いというメガネ店と眼鏡作製技能士亀山が作るメガネは何が違うのか

一番大きな違い、というより問題は調整・フィッティングができるか、行くかどうかです
フィッティングとはメガネの掛け位置、掛かり具合をお合わせ調整することです

低価格のフレームでは調整がほとんどできないものがあります

調整ができる枠なのに調整を全くしていないお店も多々見られます

何度も調整しなおしてもらっても治らなかった、として当店に来た方も何名もおられます
「フィッティングをします」と謳うのに出来ない、出来ていない店が多いのです

「ハイグレード設計で視野が広くて見やすいです」と良いレンズのご提案を受けた方も多いと思います
「視野が広いなら調整が甘くても、まあ使えるかな」と思うかもしれませんが
残念ながら調整をしなければ結果は同じで「見づらい」になってしまいます

遠近両用レンズの視野の広さ、見やすさをフルに発揮するには
ご利用になるフレームの掛け位置の確認と掛け具合の調整（前フィッティング）
そしてお渡しの際に目とレンズの中心（FP）の位置を確認するフィッティング調整が必要なのです
1ミリという単位は小さいと思われるかもしれませんが

遠近両用メガネの1ミリのズレは見づらさ、使いづらさに直結いたします
フィッティングをしていないメガネは未完成品、損をさせられています

メガネ作りに失敗した、見え方・かけ具合に違和感を覚えた経験などがおありなら
メガネの国家検定資格、一級眼鏡作製技能士を持つ亀山にお任せくださいませ